

有限会社モーハウス （卸売業・小売業）

＜多様な経歴を有する女性社員の力を結集してビジネス拡大した“授乳服”市場のパイオニア＞

◆ダイバーシティ経営の背景

- ・ 1997年に創業。母となった女性のライフスタイルをより自由なものに変えていくことを志向し、授乳服という“ツール”を用いてビジネスと社会活動の両輪で取組を展開している。
- ・ 従業員の多くが子どもを持つ女性であり、子育てという「制約」を多様な工夫で乗り越えながら円滑な業務実施体制を築くとともに、社員の継続的なキャリア構築を支援している。

◆取組内容

- ・ 事務所（つくば市）、東京・青山等の店舗にて「子連れワークスタイル」を導入、主に0～1歳の乳幼児を連れた勤務を認めており、全体の3分の1程度のスタッフが子連れ出勤を行っている。ハード面でははさみなどの文具や書類を入れる机の引き出しに鍵付のものを選んだりするなど、安全面での配慮を行い、さらに危険な機材を手近に置かないなどソフト面のマニュアルを整備、徹底している。また、子連れ中は仕事をしながらいつでも授乳、おむつ替えができるようにしている。
- ・ 働きたくても子どもを預けられずにキャリアの継続を断念していた女性に対して門戸を開き、職歴を問わず採用、能力と本人の意志に応じた配置をしている。また、「子どもを理由にした作業フリーズ」をなくすため、突発的な事態にも対応できるよう、複数の業務を複数人で担当する柔軟な体制をとり、メール等を活用しながら業務の進捗等を相互に確認できるような工夫を凝らしている。
- ・ 在宅勤務システムの導入や、遠隔地での出張所・サロンの出店支援も実施しており、事務所や店舗での就労が困難なスタッフに対しても就労の継続を支援している。

◆成果

- ・ 出産・育児を経験した女性の視点を余すところなく活かして授乳服市場を開拓、ビジネス化に成功。
- ・ 柔軟な勤務体制をとることで、時間等の制約ある女性でも能力を十分に生かすことができるようになり、スタッフ皆が業務をフォローし互いに協力し合う風土の醸成にもつながっている。
- ・ また、「子連れワークスタイル」は、キャリア中断を余儀なくされていた優秀な女性の獲得につながっている。前職などで多様な経歴を持つスタッフが、百貨店等への販路開拓、WEBページ制作、講演事業の拡大など、自身の有するスキルやノウハウを活かしながら様々な事業展開に貢献している。
- ・ それらの活躍は、子どものいない若手の女性スタッフだけでなく、見学者やモーハウスを知った人も含めて、新たなロールモデルとなっている。

＜企業概要＞

設立年	1997年	資本金	3百万円
本社所在地	茨城県つくば市梅園 2-17-4 mo-baco 2F		
事業概要	授乳服 授乳インナー 企画製作販売		
売上高(※)	329百万円 (※)直近決算期(2012年8月)		

＜従業員の状況（単体）＞

総従業員数	45人(うち非正規40人)
属性ごとの人数等	【女性】45人(うち非正規40人)、女性管理職比率100%
正規従業員の平均勤続年数	3年